



発行所 日刊木材新聞社  
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4  
編集・営業 ☎03-3820-3500  
FAX03-3820-3519  
総務・販売 ☎03-3820-3511  
FAX03-3820-3518  
https://jfpj.jp/  
eメール info@n-mokuzai.com  
購読料 1ヵ月 6,200円  
©日刊木材新聞社 2018  
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。



# 構造設計とプレカットデータをパッケージで

## AFSCとネットイーグルが連携

### アルファフォーラム

アルファフォーラム(東京都、小林靖尚社長)は、許容応力度計算等の構造設計サービスとプレカット加工データ(1次生成データ)をパッケージ化したサービスを開始する。同社が住宅会社、ビルダー、ゼネコンなどから業務を受注し、同社と構造計算などのサポートを行うアルファフォーラムサポートセンター(AFSC)及びAFSCが連携する海外CAD入力センターなどの支援も受けて実施する。サービスの本格運用は来年度からを計画。年間で住宅360棟、非住宅2万坪の対応を目指していく。

アルファフォーラム 格した資格者が必須は、AFSC29会員との連携で構造計算などの業務を行ってきた。AFSC支部には独自の構造設計の試験に合格した資格者が必須で、主にプレカット工場などが参加している。これまでプレカット工場では相見積もりなどにも伏図を作成して木拾いを行い積算していたが、受注率が低いとこれがコスト負担につながっていた。CADオペレーターの手は、住宅会社などから

の受注の初期段階で、許容応力度計算等構造設計を行った後、プレカット工場で組める伏図を確定し、さらに加工データまで生成する。使用部材については、当初は構造用集成材を前提としてAFSC C樹種マスターを作成し、木拾いまで行う。生成された加工データはネットイーグルが確認して、ネットイーグルのCAD/CAMに対応できるプレカット工場に発注し、確実に加工できるようにしていく。対象は3階建て以下の木造軸組工法。住宅の場合は、アルファフォーラムのこれ

信用を商う木材総合問屋

株式会社 **ダイワコム**

本 社 東京都府中市西府町三ノ二ノ二〇  
電話 〇四二(三三六)二四二二(代)  
埼玉本店 埼玉県日高市森戸新田七九ノ一  
電話 〇四二(九八四)二七七七(代)

主な記事

- ▽2面 日本CLT協会 加工機CAD/CAM連携へ
- ▽3面 集成材商況 母屋、桁にも集成材
- ▽4・6面 特集 乾燥機・ボイラ・測定器
- ▽7面 東京中央木材市場 年間最大イベントに200人

までの実績からすると、坪数と入隅、出隅、母屋下がりなどの条件から概算見積もりが可能で、無駄な入力作業を削減できるものと見られる。

設計責任はアルファフォーラムとAFSC側、加工責任はプレカット工場が持つ形を想定している。

加工情報を含むプレカットCADデータはプレカット工場に販売するが、非住宅物件で設計、施工を分離発注するケースなどでは建築主にデータを販売するケースも想定される。大型物件ではプレカット工場間で図面を分割して入力していたケースもあるが、AFSCの仕組みのなかで業務分担を行うことや、今後は欧州の特殊加工機に対応したBT LフォーマットでのオープンCAMやBIMへの対応なども視野に

事業を展開していく方針だ。

8月3日にはAFSC連絡会を開いて、今後の方針を検討していく。

小林社長の話 構造設計を先行して行うことで構造設計のポジションが変わっていくだろう。

祖父久好ネットイーグル社長の話 現在、プレカット工場の悩みはCADオペレーターと工員の不足で、日本人は辞めてしまおう不安があるが、外国人の技能実習生なら3〜5年は辞めない安心感があるという。成長分野の非住宅では加工はできて肝心の構造設計者がいないのが現実で、CADソフトが進化しても使いこなす設計士がいなければどうにもならない。これを解決できる仕組みが今回のアルファフォーラムとの協業だ。